



今号のトピックス

大田区こども食堂連絡会

こども食堂団体のネットワーク～声を掛け合える地域づくりのために～



問合先 社会福祉法人 大田区社会福祉協議会

おおた地域共生ボランティアセンター

TEL.03-3736-5555 FAX.03-3736-5590

〒144-0051 大田区西蒲田7-49-2 大田区社会福祉センター5F

開所日時：(月)～(土) 8:30～17:15 《日曜日・祝日・年末年始を除く》

メール : voc@ota-shakyo.jp



大田区こども食堂連絡会

こども食堂団体のネットワーク～声を掛け合える地域づくりのために～

大田区こども食堂連絡会とは

地域でこども食堂を運営している方々が交流し、こども食堂の輪を広げ、誰もが住みやすい街を創るためにネットワークです。平成30年(2018年)からスタートし、大森、調布、蒲田、糀谷・羽田の4エリアごとに、こども食堂の幹事を選出。幹事の方を中心として、自主的にこども食堂の連携を図る連絡会です。

※大田区社協は、事務局としてサポートしております。

こども食堂連絡会の取り組み

①こども食堂MAP作成

大田区内63団体(令和7年11/1現在)の所在地、開催日時、利用料、連絡先等が掲載されているMAPです。

こども食堂を利用したい、応援したい方は、ご活用ください。

※最新情報は、各団体のSNS等をご確認ください。

※載っている団体は、大田区こども食堂連絡会に入会し、このマップに掲載希望の団体です。



②食品寄附の受け入れ

企業からの寄附を受け付けています。事務局がお預かりし、地域のこども食堂におわたりします。

物価高の状況下、令和7年(2025年)は企業から以下の食材の提供がありました
(※一部です)。

•ボートレース平和島様
1kg精米
×
500袋

•全国調理食品工業協同組合様
煮豆・佃煮他
×
約2,900袋

•ネッパー株式会社様
三浦スイカ
×
20箱

•東京食肉市場株式会社様
切り落とし国産牛肉100g
×
690人分他



ロゴマーク誕生と込められた思い

大田区こども食堂連絡会のロゴマークは、令和5年(2023年)に、こども食堂を利用している大田区内の小学生がデザインしたもので、「第15回NPO・区民活動フォーラム」にて掲示し、一般投票(全体で295票)を行ったうえで決定しました。

ロゴマークはお皿が机になっており、そのまわりに子どもたちが集まり食事をしていたり、本を読んでいたり、宿題をしていたり、こども食堂でできることを描いています。「笑顔あふれる」とは、こども食堂に行くことで得られる美味しいや、友達ができた喜びなどで生まれる笑顔を表しています。



ネットワークを生かした

③情報交換

年3回程度のグループワークを通して、団体同士で情報交換を行っています。

令和7年11月の全体会は、「地域福祉コーディネーターとの連携」をテーマに、エリアごとにグループワークを実施し、日頃の活動の悩みや、あるべき地域像などを話し合いました。

※次回は令和8年(2026年)2月に開催予定です。



▲全体会の最後に集合写真も撮りました!

25団体が参加しました

羽田のこのこ食堂 (一般社団法人羽田のこのこ)・渡司 幸さん

①商店街にあるこども食堂です。曜日によって朝・昼・晩ごはんと居場所を提供しています。

②現場では「今、ここで、この子に」という蟻の目で活動しています。こども食堂連絡会では「将来的に、地域で、区で」という鳥の目でそれぞれの活動の座標を見つけ、支え合えるような子ども支援のネットワークを創っていくなら良いなと考えています。

幹事の皆さんに聞きました

- ①うちの食堂紹介
- ②こんな連絡会を目指したい!



いちご食堂(NPO法人一期JAM)・山崎 剛司さん

①いちご食堂は、地域の子どもたちが安心して過ごせる場として、毎週日曜日に温かい食事と交流の時間を提供しています。
②こども食堂連絡会では、食の支援に限らず、地域全体で子どもを見守るつながりをより強めたいと考えています。団体同士が学び合い、協力し合うことで、より幅広い支援の輪を広げていきたいと思っています。

カフェキャビン子ども食堂(CAFE CABIN)・井上 かなえさん

①カフェキャビン子ども食堂は、地域の子どもが安心して集い、食事と交流を提供する居場所として運営しています。
②こども食堂同士がつながり、困りごとや情報を気軽に共有できる連絡会を目指します。
地域の大人が子どもを見守る温かな輪を広げ、現場目線の安心安全な運営と、時代に合った居場所づくりを推進。運営者同士が無理なく協力し合える持続可能なコミュニティをつくります。

※こども食堂とは? 子どもが一人でも安心して利用できるよう、地域の方々が無料または低額で食事を提供しています。開催回数や内容も、さまざま。食事だけでなく、体験や学習の場、多世代交流など、いろいろなカタチがあります。誰でも気軽に集まれるみんなの居場所です。

令和7年度 おおた地域福祉フォーラム

かたち
「つながりを力に。地域みんなで築く共生社会の未来」

大田区・大田区社協では、地域共生社会の実現に向け、様々な異なる立場や所属の皆さまとの連携・協働による取組みが身近な地域に広がることを目指し、令和7年度「おおた地域福祉フォーラム」を開催します。地域福祉コーディネーターの事例報告に加え、参加者同士での意見交換の場も設定しております。すでに地域で活動されている方、地域のために何かしたいと思っている方、是非、ご参加ください!



前回の様子▶

日 時: 令和8年2月8日(日)13:00~16:30
(12:30受付開始)

会 場: 大田区民プラザ 地下1階展示室
(大田区下丸子3-1-3)

定 員: 120名(事前申込制) **料 金:** 無料



申込方法: 右記申込フォーム(QRコード)
またはFAX・メール・電話にてお申し込みください。

申込期間: 令和7年12月1日(月)~令和8年1月30日(金)

対 象: どなたでもご参加いただけます

*定員を超過した場合、大田区在住・在勤・在学の方を優先させていただきます。

[主催] 大田区・社会福祉法人大田区社会福祉協議会

[共催] 大田区社会福祉法人協議会(おおた福祉ネット)

[申し込み/問合せ]

おおた地域共生ボランティアセンター 地域共生担当

電話: 03-3736-2266 FAX: 03-3736-5590

メール: kyousei@ota-shakyo.jp

はじめようフード ドライブ!“もったいない”を“ありがとう”へ ご家庭にある未利用食品大募集!

あなたも、1品から始められる!!

「食」を通じた支えあいに参加してみませんか?

寄せられた食品は、必要とする方々にお届けいたします!

例



集まった食品は・・・



ご家庭・企業の方が持ち寄り、集まった食品を大田区社協を通して、区内の支援を必要とされている方々へ届ける活動のことです。

子ども食堂やフードパントリー団体等で活用されています!

特に
お持ちいただきたい
食品

- すぐに食べることができるインスタント・レトルト食品
- 缶詰
- 菓子類(せんべい、チョコなど)
- 穀類(米、小麦粉など)
- 調味料(食用油、醤油、味噌など)
- 乾物(乾麺、のり、豆、海藻など)
- 乳児用食品など

※注意いただきたい点※

- 未開封であること
- 賞味期限が2か月以上であること
- 包装や外装が破損していないこと
- 常温保存が可能であること
- ※生鮮食品は受付できません
- アルコール類ではないこと
- ダイエット食品や栄養補助食品ではないこと
- お米は精米時期が1年以内であれば受取が可能ですが、※未開封であり、精米時期が記載されていること

[問合せ] おおた地域共生ボランティアセンター ボランティア担当
住所: 西蒲田7-49-2 大田区社会福祉センター5階
電話: 03-3736-5555 メール: voc@ota-shakyo.jp

常設型フードドライブ拠点は
こちらからご確認ください



ボランティアのつどい2025

つながる 広がる ボランティアの力～ささえあいのその先へ～

開催報告

主催: 社会福祉法人大田区社会福祉協議会
共催: 大田区

令和7年12月13日(土)、「ボランティアのつどい2025」をスマイル大森にて開催しました。

第1部

大田区社協では初開催となる「つながりサポーター養成講座」(講師: (一社)日本産業カウンセラー協会 清水達也氏)では、参加者同士がコミュニケーションをとりながら「孤独・孤立」や「つながり」について学び、地域の相談窓口やボランティア活動について知る機会となりました。



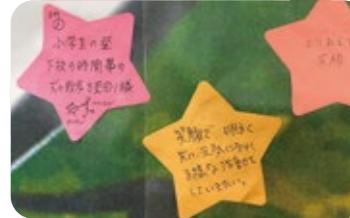
参加者の皆様と☆ありがとうございました!



特技ボランティア
東京プレクラム音楽協会・マンドリン演奏



参加者の思いがつまっています☆
クリスマスツリー



第2部

特技ボランティア「東京プレクラム音楽協会」によるマンドリン演奏で始まり、「あわてんぼうのサンタクロース」等のクリスマスソングで会場を盛り上げました。続いて、おおた地域共生ボランティアセンターによる活動報告とボランティアの方々からのメッセージ動画を上映しました。中学生・高校生の若いボランティアの方々からも「ボランティア、やってみよう!」と力強いメッセージがありました。

また、交流会・グループワークでは、今回のイベントについて学んだことなどの発表が参加者からありました。高校生からも発表があり、コメントーターの森純一氏(東京ボランティア・市民活動センター副所長)から「大田区の若い方々が活動されていることは重要」などのお話をいただきました。最後に、イベントを通じて「新たに発見したこと」「明日からできそうなこと」「今後のボランティア活動に活かしたいこと」を参加者が星形の紙に書き、会場内のクリスマスツリーに貼ってツリーを完成させました。

参加者の皆様からは「来てよかったです」「自分の得意なことで人を助けたい」等の感想があり、大田区のボランティア活動が更に広がるきっかけとなるイベントとなりました。



会場内にボランティア募集等のチラシを用意



参加者の感想

「つながりたいけどつながれない方」には今回の講座の内容は非常に意味があると思いました。

心にブレーキがかかってなかなか活動にすすめなかつたが、今日の話で大きく変化できるきっかけになりそう。

興味あるボランティアについて教えてくださる方と名刺交換できました。つないでくださった社協の方、ありがとうございました。

あなたにも できることがきっとみつかる! 大田区のボランティアさん 募集

■活動日時 ■住所・活動場所 ■募集人数・対象(男女は限定時表記) 交交通費 ■問合先 ■担当者

高齢者の方との活動

「縁・じよいんとプロジェクト」は、高齢者施設と一緒に演奏してくれるボランティアを募集しています。楽器を弾けても弾けなくてもその場を盛り上げてくれる方、歌詞カードをめくれない方への補助等もお願いしたいです。

■月4~6回・日時不定
■南雪谷5-17-9、活動場所不定
■若干名、高校生可、一度体験も可、楽器使用の方は持参
■なし
■縁・じよいんとプロジェクト ☎050-7108-1988
■おがわ



障がい児・者との活動

「大田区パーキンソン病友の会」は、隔月、障がい者総合サポートセンターさぽーとぴあで、定例会をしています。難病パーキンソン病について知り、優しい社会をめざすために、一緒に話をしたり、歌を歌ったり、また卓球や手芸のサークル活動への参加、会場設営(机・椅子のセット・片付け)等の支援をしていただきたいです。

■原則隔月第2日曜日 13:30~15:45
(次回は2月8日)
■障がい者総合サポートセンターさぽーとぴあ・5階多目的室 JR大森駅 東急バス大田文化の森下車徒歩5分
■1~2名、高校生可、医療系専門学校または一般大学の学生
■上限500円
■大田区パーキンソン病友の会 ☎090-5392-8614
■やまね



こども支援の活動

「ふれあいこどもクラブ きょうもおいで」は、地域の子どもや高齢者が安心して一緒に集える場所として運営しています。

①小学生とゲーム、工作等でかかわることに興味のある方 ②ご近所で50分程度空き時間に、スタッフと一緒に自転車で野菜を運んでくれる方、募集しています。



■①毎月第1・第3日曜日 10:30~14:00(要相談)
■②毎月第1・第3土曜日 16:00~16:30
■①大森第三小学校家庭科室 京急本線大森町駅下車 徒歩10分
■②うめやしき商店街青果店~大森第三小学校
■①②数名、高校生不可 ①動きやすい服装、上着、昼食、飲物 ②エコバック等野菜を入れられる袋
■なし
■ふれあいこどもクラブ きょうもおいで ☎080-3099-2345
■きたうら

「ベストキッズ(自主学習支援会)」は「子どもに寄り添う」をコンセプトに、様々な事情で学校の勉強についていくのが困難な状況の小・中学生を対象に、大田区内で5教室運営中です。子どもの居場所で一緒にボランティアスタッフとして参加してみませんか。



■小・中学生が皆さんと一緒に宿題やワークに取り組みます。
■毎週月曜日・木曜日 18:00~21:00
(他の教室・曜日希望は別途応相談)
■糀谷教室・西糀谷2-14-5 区立糀谷文化センター JR蒲田駅 京急バス仲糀谷下車 徒歩3分
■若干名、高校生基本不可、長期固定継続参加できる方・理数系得意な方歓迎、筆記用具・学習資料等持参
■一律1,000円
■ベストキッズ(自主学習支援会) ☎090-8308-8880
■はかた

活動を希望される方は、詳しくは大田区社協ホームページ等でご確認いただくか、各施設等へ直接電話等でお問い合わせください。

地域における活動

「みんなの駄菓子屋さん」は、子どもたちが自由に遊びに来られ、地域のボランティアが運営し、子どもたちに「遊び」「体験」「参加」の機会を提供しています。



駄菓子屋さんの運営サポート(準備、接客、片付け等)、子どもたちの話し相手、遊び相手、見守り等のボランティアを募集しています。

■毎週1日程度 現在は火曜日 14:00~17:00
土日祝日に活動の場合あり 応相談
■南蒲田3-10-31 日の出銀座商店街・休憩処「ひので庵」京急空港線糀谷駅下車 徒歩8分
■若干名、高校生可
■なし
■みんなの駄菓子屋さん ☎080-3510-7472
■ながいけ

住民参加型のたすけあい活動

「たすけあい大田はせさんず」は、手助けを必要とする人を手助けできる人が共に会員となり、安心して暮らせる地域社会の実現を願い、介護や家事援助を実施しています。このたすけあい事業として運営している、移動困難者を支援する福祉有償運送(国交省認可)を担う活動者を募集します。



■活動者ご自身の都合の良い時間
■利用者の指定する場所、ただし出発または到着が大田区内
■若干名、自動車運転免許証必要
■移送サービス運転協力者講習会(国交省認定)
■受講必要 受講料・交通費法人負担
■実費負担
■特定非営利活動法人 たすけあい大田はせさんず 池上4-28-3 ☎03-5747-2610
■さとう

地域子育て支援ボランティア募集中!

「ファミリー・サポートおおた」 提供会員養成講座

「ファミリー・サポートおおた」は、育児のお手伝いをしたい方(提供会員)と育児のお手伝いをして欲しい方(利用会員)の両者を会員として登録し、援助活動により仕事と育児の両立や育児家庭の支援をする子育てサポート事業です。この講座の全カリキュラム修了後、提供会員として登録し、地域のお子さんのお預かりや保育施設の送迎等の活動をしてみませんか。



■開催日:令和8年2月2(月)、3(火)、4(水)、6(金)
10:00~15:00(2/3は~15:30)

※初日のオリエンテーションは出席必須となります。

■会場:スマイル大森

■対象:20歳以上で区内在住の心身ともに健康な方
■定員:先着20名(定員になり次第締め切り)

■講習受講料:無料

※保育士・看護師等の資格をお持ちの方は、講習の一部免除規定があります。(詳細はお問合せください)
■申込方法:必要事項をご記入の上、電子申請又は、はがきか封書でお申込みください。

①講座名「ファミリー・サポートおおた」
第91回提供会員養成講座、②郵便番号・住所、
③氏名(ふりがな)、④生年月日、⑤電話番号

■申込み・問合せ:

大田区子ども家庭支援センター
「ファミリー・サポートおおた」事務局
〒143-0016 大田区大森北4-16-5
☎03-5753-1152

詳しく述べ、大田区ホームページ

https://www.city.ota.tokyo.jp/oshirase/mokutekibetsu/kodomo/famisapo_teikyoukaiin.html

使用済切手を集めています

大田区社協では使用済切手を集めています。ご寄付いただいた切手は、ボランティアで整理され、売却し、ひとり親支援団体が行うお米の配付活動に活用します。ご家庭や企業等で切手がありましたら、ぜひ大田区社協下記までご連絡ください。



■問合せ:おおた地域共生ボランティアセンター
☎03-3736-5555

ボランティアさん募集の最新情報は、大田区社協HPでもご覧になれます



「ちょっと気になる団体紹介」

ボランティア スポット

ゆる~くつながる

おおたTSネット

志村陽子

【TS=トラブルシューター】

地域に暮らす、知的や発達に困難を抱える人が、「触法」と言われる状況になった時、その人の状況に合わせて司法や福祉の視点で適切な対応がなされるよう関わり、支援する人。それは「資格」でも「職業」でもありません。今の社会に「そういう状況がある」ことを知っている人。それぞれの立場でそこに思いをはせることができる人。

そんな人「トラブルシューター」が地域に普通にいることを目指して2016年2月に「おおたTSネット」を立ち上げました。折しも大田区障がい者総合サポートセンターが開所したタイミングで、そこを拠点に活動を続けています。

月に一度の定例会と、社会福祉協議会の助成金を活用し



おおた社会福祉士会と共に
社会を明るくする運動の一環参加者のみなさんと

た拡大定例会を年に3~4回開催し続けています。当初からおおた社会福祉士会には大いに協力してもらっています。

大田区自立支援
協議会にも初めか

ら参加。その後、社会を明るくする運動の協力団体となり、大田区再犯防止推進会議にも参加しています。

毎月の定例会は「居場所」のような雰囲気です。大テーマは「ゆる~くつながる」ことで、交流や情報交換を行っています。拡大定例会には、毎回魅力的な講師をお招きし、一定の分野にこだわらない様々なテーマを学ぶ機会となるように心がけて開催しています。

自分は知的障害のある息子と暮らす、ただ一人の母親です。彼の障害に気づいた時、「実は何も知らなかったなあ」とあっけにとられました。まだまだ知らないことがたくさんあり、それをみなさんと一緒に学びたいと思っています。

10年目の今、「続ける」ことがテーマです。

問合先 おおたTSネット・志村

メール yoyo.shimu@gmail.com

★「地域福祉活動団体支援事業」を活用して頂いている団体です



特技ボランティアさん ご紹介

ホームページに特技ボランティア一覧を掲載しました。

問合せ:おおた地域共生ボランティアセンター ☎03-3736-5555



六郷軽音楽団

代表 中島 敦子

手持ちの楽器でアンサンブルを楽しんでいます。現在はギター、ベース、クラリネット、フルート、ピアノ、アコーディオンです。外国の映画音楽、日本の時代劇のテーマ曲、アニメソングその他、幅広いジャンルの曲を演奏するのが我がバンドの自慢とするところです。お声かけをお待ちしています。



スポーツチャンバラ

護心館おおた支部 峯 慎一

私は、スポーツチャンバラを子ども達に教授して13年目になります。

スポーツチャンバラはチャンバラごっこをスポーツ&武道にしたもので

剣は柔らかい素材ですが、打たれると少し痛いです。痛みを知ることで暴力による警戒心や相手に対する優しさも芽生えできます。

幼稚園の授業に取り入れられている区もあります。興味を持たれたらご連絡ください。



編集後記

はじめまして。ボランティアセンターの栗原と申します。

現場で頑張っていらっしゃる区民の方々の声を、直接伺いたい! そう思い立ち社協に入職し、早々に夢がかないました。幸せな毎日です。

さて、今回の「こども食堂連絡会」特集は、いかがでしたでしょうか?

こども食堂の皆さんとお話しすると、こどもや親、地域と真剣に向き合っていらっしゃるのを実感します。そんな皆さんの思いが特集を通じて、少しでも伝わったなら嬉しいです。

興味を持たれたら、こども食堂へも一度、足を運んでみられてはいかがですか。(栗原)